

生徒にあった「学び」を目指して —社会生活に根ざした学習と意識を変える—

魔法のダイアリー 仙台セミナー
澤岷 圭祐

本校の紹介

- 肢体不自由特別支援学校
- 小・中・高等部が設置されている。
- 魔法のプロジェクト採択6年目（ランプ～ダイアリー）
- iPad等のデジタルデバイスが導入されている



対象生徒の実態

- 高等部 2 年生の男子生徒
- 病弱障害
- 中学部から本校に入学。
- 手術の影響などで欠席が多い（昨年度は半分以上欠席）



澤岷

授業もなく、
わからないことだらけ

引き継いだ対象生徒の実態

- インドア派で、ゲームやプラモデルを組み立てたりして余暇を過ごしている。
- 絵を描くことが好きで、イラストレーターになりたかった。
- 寡黙で真面目な反面、意見を述べたりすることが少ない。クラスメイトにも気を使っている様子である。
- 保護者が言うには「少しサボりもあるかも」

引き継いだ対象生徒の実態

彼の課題？

- ・コミュニケーション能力が低い？
- ・学習意欲が低い？

一緒に過ごして知った

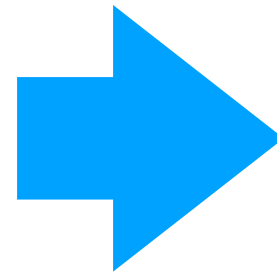
対象生徒の実態

- 自分で考えて行動することができ、姉の携帯が壊れた時にはYouTubeでやり方を調べて直したこともある。
- 「絵を描く」ためのiPadアプリを自分で調べて活用。また、美術の授業で「人物画の描き方」を自発的に調べて予習。
- 何気ない会話のレベルが高い。
(経験したことをもとに考えることができる)

など

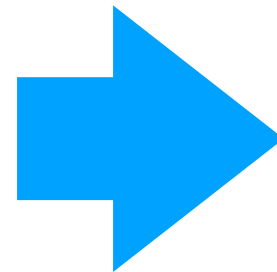
前提を見直す

コミュニケーションの課題



伝え方がわからないのもあるが、
伝えたい「こと」がない？

学習意欲が低い。
欠席が多い



「学ぶ意義」を感じていない？

取り組み目標

1. 自分自身の長所や課題、困りを見つける。
2. 社会生活を送る上で必要最低限のコミュニケーション能力の育成
3. 自分自身に適した環境や必要な支援を知り、調整していくことができる。



私たちが

これらを「社会で学ぶ」ように学ぶ

- 体験的・経験的・実践的に学ぶ
- 実生活や社会生活につながることを意識する
- 生徒の主体性を大事にする
- 生徒の試行錯誤を大切にする

取り組み①社会を体験しよう

実生活に生きるような学習（「教授」→「体験・実践」）

集団

作業学習（4月～）

- ・ 教師が作業内容等を設定
- ・ 年間を通じて実施
- ・ 「他者（顧客、生徒同士）とのやりとり」を重視し、販売を行なっていく。

個人

総合的な学習（4月～）

- ・ テーマだけ教師が設定
- ・ 業務内容等は全て生徒個々人で考え、実施
- ・ 自分自身の課題発見やその解決方法等について学んでいく。

名刺販売を選んだ理由

ニーズの高さ

- ・ 名刺をもっている職員が少ない。
- ・ 昨年度、2週間の就業体験で販売したところ、宣伝や営業をしてないのにも関わらず注文が殺到した。
呼びかけをしてない保護者まで注文。

拡がり

- ・ デザインを考えたりするなど、取り組みに拡がりができる。

名刺販売を選んだ理由

ニーズの高さ

- ・ 名刺をもっている職員が少ない。
- ・ 昨年度、2週間の就業体験で販売したところ、宣伝や営業をしてないのにも関わらず注文が殺到した。呼びかけをしてない保護者まで注文。



拡がり

- ・ デザインを考えたりするなど、取り組みに拡がりができる。

名刺販売手順

①注文票の記入（受注）

名刺作り承ります

名刺は 10 枚 200 円になります。 (H28.11.15 日 印)

1	氏名	
2	学校名	
3	住所	
4	電話番号	
5	メールアドレス	
6	リンブル番号	
7	校章	

入れる場合○をのけて下さい。

読みかた (入れる・入れない)

校章 (入れる・入れない)

読み方 (入れる・入れない)

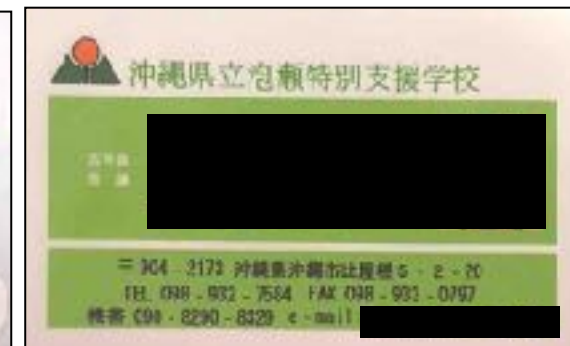
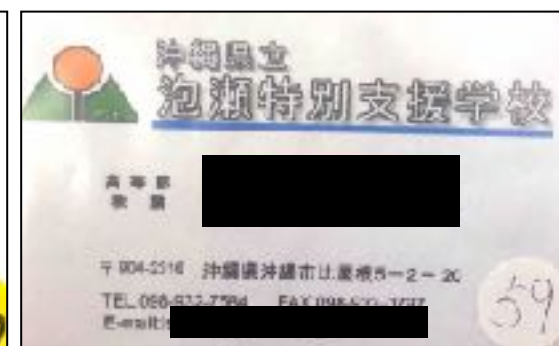
字次の順序 (する・しない)

校章 部章等は 10 円になります。 両方入れる場合は 20 円になります。

追加したいことがありましたら、書いて下さい。

--

担当者 ()

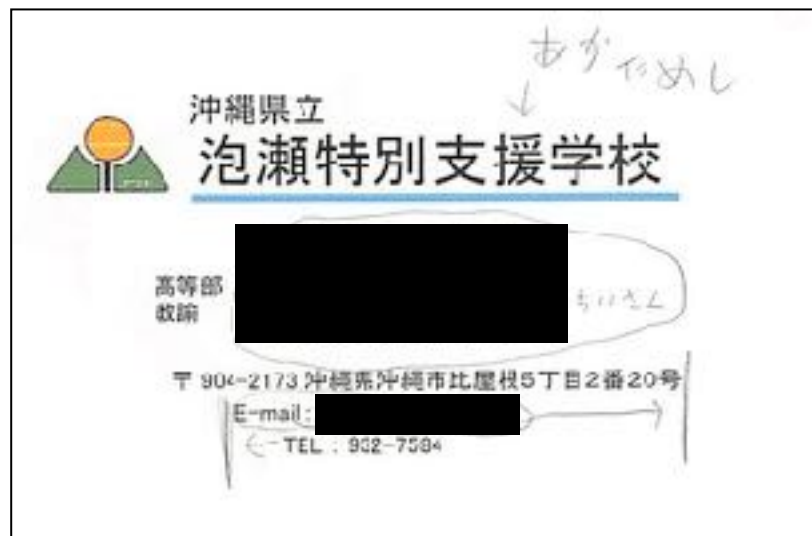


名刺デザイン例（全部で60種類）

- 「氏名」「メールアドレス」など必要な項目に記入。サンプル（約60種類）から好みのデザインを選択。
- 細かい要望も受ける。

名刺販売手順

②試作および確認・修正



試作品



試作品 (5パターン)



試作品 (6パターン)



試作品 (3パターン)



出来上がった物を確認！完成するまで何回でも！

名刺販売手順

③完成&納品



名刺デザイン例（全部で60種類）

完成！！

依頼主が納得する名刺が完成したら本
刷りへ。カッティングし納品
(10枚¥200で販売中。)

総合的な学習の時間

テーマ：「お金を稼ごう！」

目標金額	¥5000（生徒が決定）
活動内容	名刺販売（生徒が決定）
0 週目	オリエンテーション & テーマ説明（教師）
1 週目 ～ 6 週目	活動（個人）



7 週目以降に生徒各自の長所や課題を分析していく

総合的な学習の時間

ポスター2種類、注文票を自主的に作成。

ポスター2種類



注文票

名刺作り受け承ります！

注文期間は5月30日までです

1. サンプル番号

2. 学校名

3. 電話番号 FAX

4. 郵便番号

5. 住所

6. メールアドレス

7. 名前

8. ローマ字(名称)

9. 校章

学校の仕事でも使えます

入れて欲しいところ

入れたくないところは書きなくても良いです！

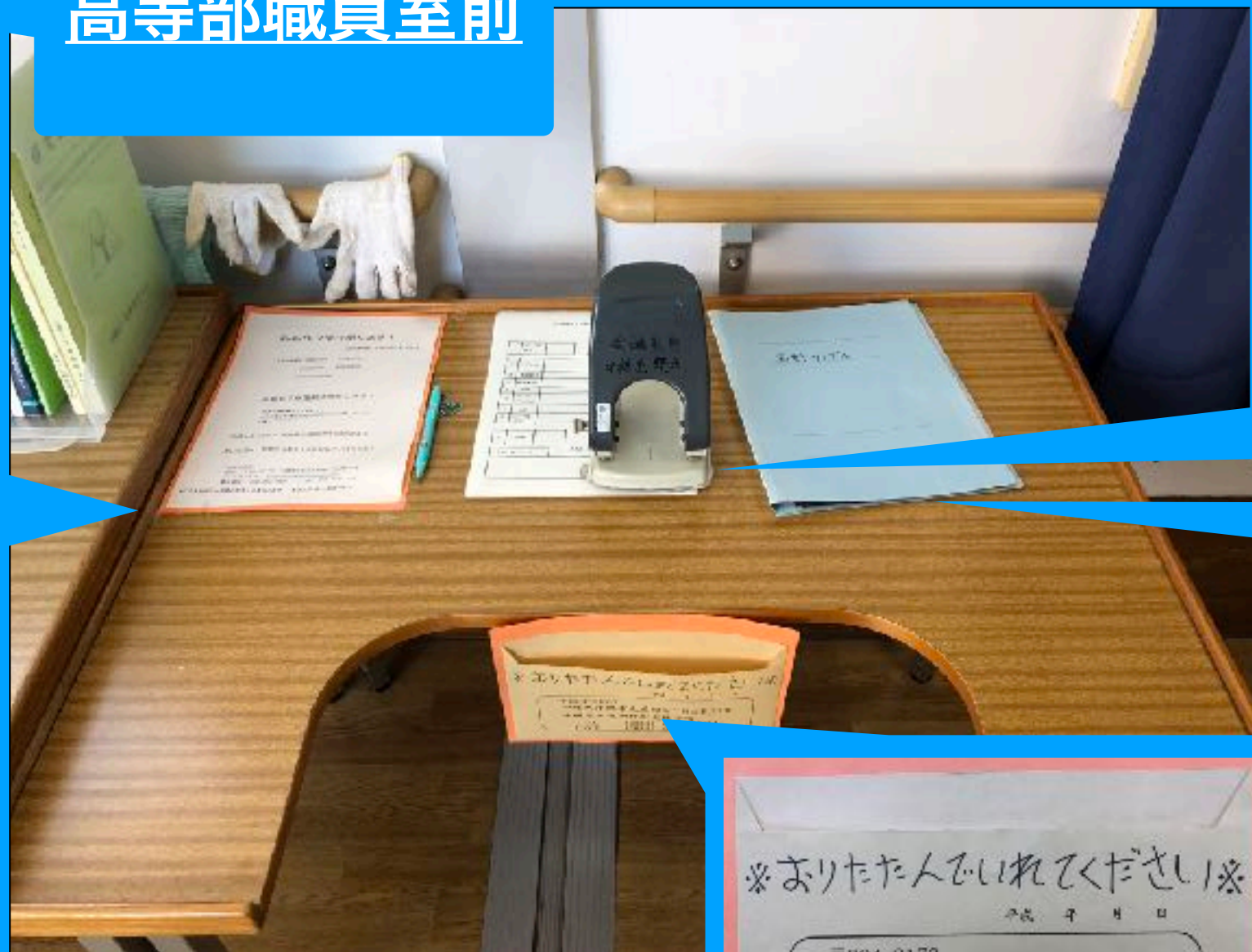
その他にも、以下の借用を事前に申請。

- ・ 名刺サンプル
- ・ A4封筒
- ・ 机
- ・ 名刺作成ソフトソフト

総合的な学習の時間



高等部職員室前



名刺作り受け承ります！

注文期限は5月30日までです

1	サンプル番号	
2	学校名	
3	電話番号	FAX
4	郵便番号	
5	住所	
6	メールアドレス	
7	名前	
8	ローマ字(姓)	

学校の住所でも構いません

学校名を記入してください

記入のしるしはなくても構いません

名刺作り受け承ります！

注文期限は5月30日までです

名刺の価格は1枚200円 20枚400円
30枚600円 10枚300円
50枚1000円です

名刺作りがします！

校章や写真を入れられます！
入れて欲しい場合は注文時に記入してください

完成したら空いている時間に確認(取りに)行きます

書いた方は、封筒に入れてくださいに入れてください

学校の住所
住所：〒904-2173 沖縄県沖縄市比屋根5丁目2番20号
メールアドレス：school@seasho.sh.opened.jp
電話番号：098-932-7584 FAX：098-933-0797

※この名刺作りは事業の範囲とは異なります ※個人/法人専用です※

沖縄県立
泡瀬特別支援学校

高等部
教諭

〒904-2173 沖縄県沖縄市比屋根5丁目2番20号
E-mail: [redacted]
TEL: 932-7584

約60種類

※お礼状を入れてください※

〒904-2173
沖縄県沖縄市比屋根5丁目2番20号
沖縄県立泡瀬特別支援学校
TEL (098) 932-7584
FAX (098) 933-0797

総合的な学習の時間



できました！
確認お願いします！

これをお願い！

わかりました！

総合的な学習の時間

売れたのはこの先生 1 名だけ。。。

目標には遠く及ばない。。。

総合的な学習の時間

Q：生徒が考える今回感じたこと（総合で学んだこと）

- ・ お金を稼ぐことって大変だと思いました。

Q：生徒が考える今回の課題（目標金額に届かなかった理由）

- ・ 作業が遅かった・・・
- ・ 取り組みが遅かった・・・

Q：生徒が考える課題解決の方法

- ・ パソコンの入力を早くします。

総合的な学習の時間

本当にそうなのか？
確かめてみよう！

総合的な学習の時間



ポスターなどの周知だけで、直接的な営業は全くなし！

注文が来るのを「待つ」だけ。。。

(売れないのはケースがないからだと考え(？)、紙で名刺ケース作成。)

彼の課題となる部分？

総合的な学習の時間

課題を見つけるためにアンケートを職員に実施（市場調査）

名刺販売アンケート

氏名()

※ 福岡大市は組合の提案で名刺を販売しました。そこで良かったところ悪かったところを知りたいのでアンケートをお願いします。

1. 名刺販売があるのを知っていましたか？
【知っていた・知らなかった】

2. 買いたかったですか？
【買いたかった・買いたくなかった】

3. 名刺販売があるのを知らせて欲しかったですか？
【知らせたかった・分からない】

4. 販売場に営業しに来て欲しかったですか？
【来て欲しかった・分からない】

名刺販売があるのを知らなかった人はここで書き添えてください。
ここからは買った方が書いてください。

名刺の売場を希望する場所がありましたか？
【あった・そうでもない】

名刺は満足できましたか？
【満足した・満足しなかった】

名刺の感想を下記で書いてください。

書いた方は福岡大市 新地分三所市三所五所市役所宛に送ってください

※このアンケートは通常のアンケートではありません



「周知できていたのか」「買う意思があるのか」などを職員にアンケートを配布して調査。（内容は生徒本人が選定）

課題の変化

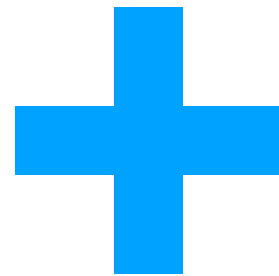
アンケート前

- ・ 作業のスピードが遅いので、作業スピードを早くします。
- ・ 注文から納品までの時間が長いのでそこを気をつけたい。

課題の変化

アンケート前

- ・ 作業のスピードが遅いので、作業スピードを早くします。
- ・ 注文から納品までの時間が長いのでそこを気をつけたい。



アンケート後

- ・ 宣伝が足りなかったなので、今後は校内放送や営業を頑張りたい。
- ・ 作業学習と内容が重なっているので、その違いについてももっとアピールしていきたいと思います。

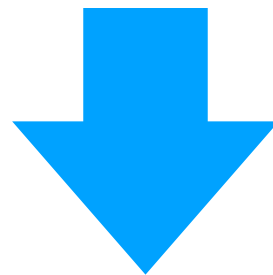
取り組み①から

- ・ 自発的な取り組みがとて多く、主体的に学んでいる。
- ・ 作業学習と総合的な学習を関連させながら取り組んでいる。
- ・ アンケートをとることで、「自分の感じていた課題」と「周囲から見た課題」のズレに気づくことができた。
- ・ 人前に出る経験が増えた。こういう経験をして、進路（決定）の手助けになってほしい。（生徒の感想）
- ・ コミュニケーション面での課題。

取り組み②ICTをATへ

ICTに対する生徒の意識

- ・ 楽しいもの（ゲーム）
- ・ （なんとなく）便利。
- ・ iPadは活用しやすいけれど、PCは苦手（起動が遅い&ローマ字）



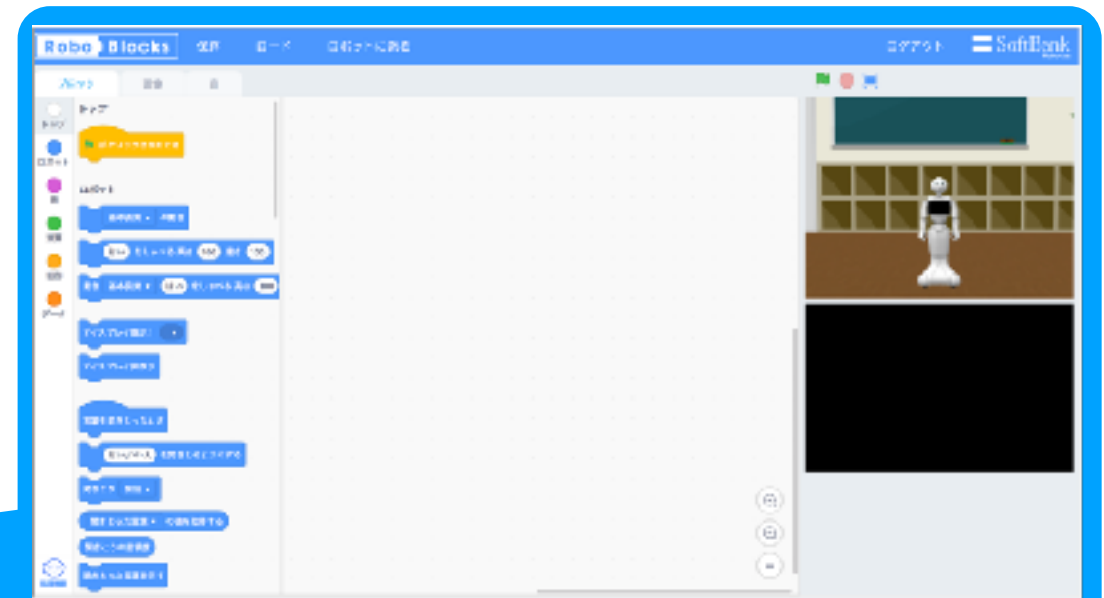
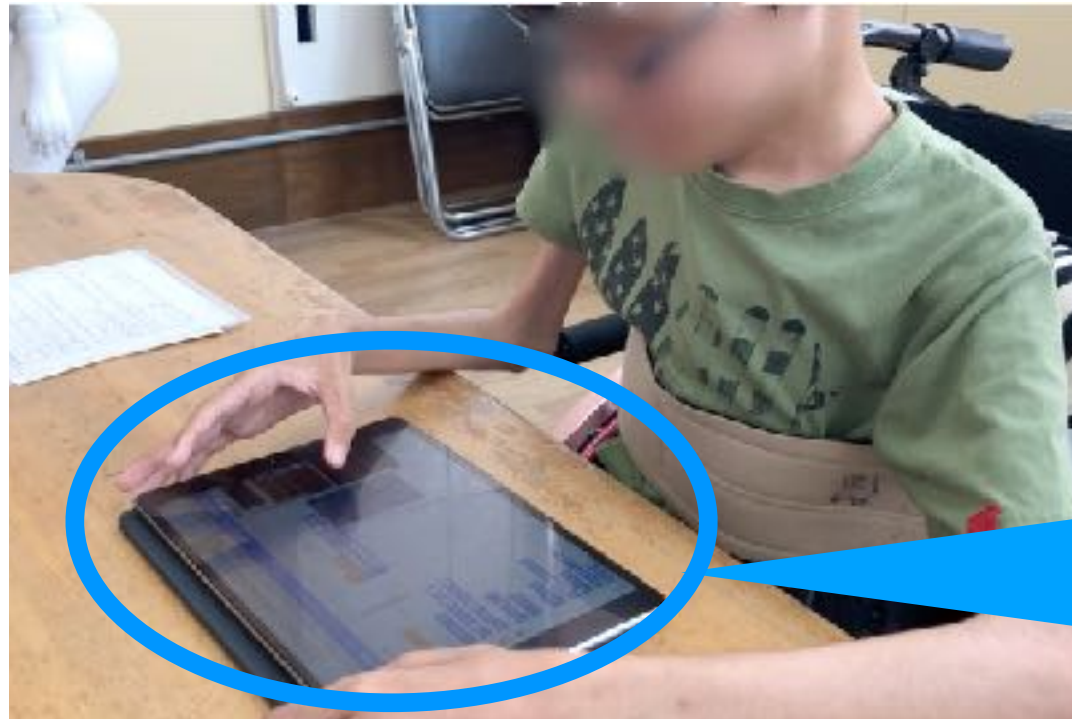
そのイメージに自分を助けるAT（支援技術）を加えたい！

卒業後の生活を考えた時に、テクノロジーを活用していく力を育成するために意識改革は必要不可欠！

取り組み②ICTをATへ

- Pepperでプログラミング
- 生徒の楽しみになりそうな題材
- 自分の不得意なことを代行するロボットとしての活用
- やるならとことんやってみよう！

Pepperのプログラミング



RoboBlocksを使ったPepperのプログラミング

- ・ 日頃からマイクラフトなどのゲームを楽しんでいる
- ・ 自分で試行錯誤しながら主体的に取り組むことができる。
- ・ 絵を描くなど表現に強みがある。



あまり説明しすぎず、生徒の創造力を活かしたい

Pepperでのビデオレター



Pepperでのビデオレター

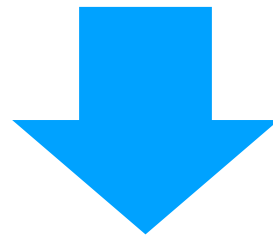
- ・家庭で楽しみながらやってきた。
- ・実際にPepperが動く様子を見て「もう少し〇〇しよう」と言いながら修正。
- ・クラスメイトと撮影したビデオを見直しながら何度か撮影をしている。
- ・丁寧な言葉使いや相手の状況を考えたプログラム。



Pepperに「苦手」を

就業体験での販売実習で

- ・ 人前で話すのが好きじゃない
- ・ 販売をするためには呼び込みをしないといけない・・・



女子生徒から「Pepperにやってもらったらいいんじゃない？」

すぐにプログラミング！

Pepperに「苦手」を

明日、販売します♪



これ、いいかも！！

いらっしゃいませ♪



Pepperでの取り組み

- 「Pepperのプログラミングは楽しい」 （生徒談）
- 家庭でもゲームをすることが多かったが、iPadを出して（プログラミング）していることも多くなっている。
（保護者）
- 生徒の言葉から、「iPadやICTってゲームってイメージだったけれど、上手く使えば困りを解消する道具になるのかもと思ってきた」という意見があがっていた。

これらの取り組みから

成果

- ・ 体験や経験、試行錯誤をしながら 自分の課題や長所について考えるようになっていく。
- ・ ICTに対する「ゲーム」や「楽しい物」として認識に少しずつ 「自分の困りを補う物」という認識が加わってきた。
- ・ 「もっと生活に生きる勉強をできるようになりたい。」 という発言も出ている（意欲の高まり）

今後の課題

- ・ 自分の「困り」にどう向き合っていくのか。「困っている」状態を放置するのではなく、どう解消していくのか。

課題と今後の取り組み

今後の課題

- ・ 自分の「困り」にどう向き合っていくのか。「困っている」状態を放置するのではなく、どう解消していくのか。
- ・ 意欲をどう持続させていくのか。



今後の取り組み

各教科との連携

- ・ 日々の中でICTをATにしていくような環境整備をする。
- ・ 生活に根ざした学力を育成していく。
- ・ 彼の「学びたい」に応じられるような機会を提供していく
(パルステップ等)

より「外」に向けた取り組み

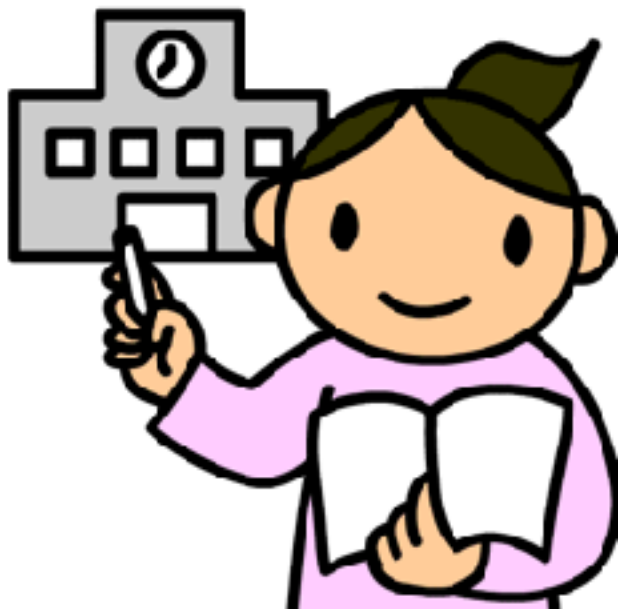
- ・ 学校内だけでなく、外部への関わりを増やす。

Pepperの魅力



保護者

うちの子の誕生日をPepperにお祝いしてほしいんだけど、お願いできない？



養護教諭

歯磨き指導にPepperを使いたいんだけど、できないかな？

Pepperの魅力

これが彼の一番の「困り」

(生徒談)

A photograph showing two young people at a wooden table. The person on the left, wearing a white t-shirt with 'Lager' text, is operating a laptop and a mouse. The person on the right is leaning over the table. The table is cluttered with various items including a backpack, a thermos, papers, and electronic devices. The background shows a storage area with blue and green plastic bins.

木み、学校でPepperの胸のタブレットに画像を映してわかりやすくするために奮闘中

実は

宿題以外の勉強はあまり家庭でやらない生徒。

4月は学校に居残りするのも嫌がっていた。

そんな彼が、「夏休みも学校行こうかな」とお母さんに言った。